

●お問合せ先について

本製品の保証、修理、使い方などのお問合せは、
最寄りのサービスセンターをご利用ください。



株式
会社



東京営業部 〒162 東京都新宿区市ヶ谷田町3-8 新幹ビル 03 (269)7243

大阪営業所 〒541 大阪市東区本町2-25 本町ビジネスビル 06 (263)1571

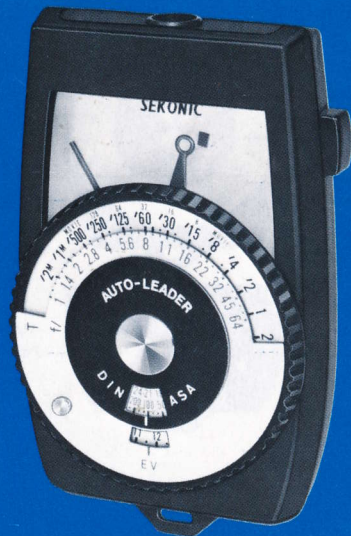
名古屋営業所 〒460 名古屋市中区栄5-8-14 万国ビル 052(251)6201

東京サービスセンター 〒162 東京都新宿区市ヶ谷田町3-8 新幹ビル 03 (269)7241

本社 〒177 東京都練馬区大泉学園町7-24-14 03 (978)2330

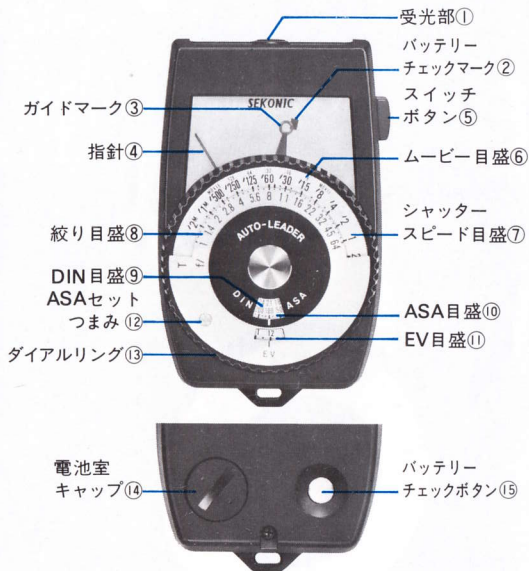
オートリーダー model L-188

取扱説明書



セコニック オートリーダー L-188

オートリーダーはガイドマークによる追針式を採用しています。しかも、1レンジ測定のできる極薄型軽量タイプですので、非常に簡単な操作で測定でき、携帯に便利な露出計です。



仕様

測定方式：反射光式

測定範囲：EV3～18(ASA100)

受光角度：60°

- 目盛：●ASA(DIN)……6(9)～12000(42)
●絞り(f/)……1～64
●シャッタースピード(T)……8～1/2000秒
●EV………2～19
●ムービー……8～128f/s(コマ)
●サイズ………81×52×19.3mm
●重量………50g(電池含む)

〈 準 備 〉

● バッテリー

バッテリーはJIS記号G13型 1.5V酸化銀電池1個を使用します。まず、電池室キャップ⑭を硬貨で左に回すとはずれます。次に、酸化銀電池の⊕側を上に向けて装填してください。また、長期間使用しない場合は必ず取り出しておいてください。



● バッテリーチェック

電池が規定の電圧以下になると露出計の指針④は正しい値を示しませんので、使用前に電池の電圧をチェックしてください。バッテリーチェックボタン⑮を押して、指針④がバッテリーチェックマーク②に達していない場合は酸化銀電池を新しいものと交換してください。

なお、バッテリーチェックの場合はスイッチボタン⑤を押さないでください。



〈 使 用 法 〉

● フィルム感度セット

使用するフィルム感度をセットします。

あわせかた

ASA目盛⑩を合わせるにはASAセットつまみ⑫をまわして、ASA窓の白線と赤目盛を合わせます。

● 露出の読取り

受光部①を被写体に向けると指針④が被写体の明るさに応じて振れます。露出を読取るにはダイヤルリング⑬をまわして、指針④がガイドマーク③の中心を合わせます。ダイヤル上のシャッタースピード目盛⑦と絞り目盛⑧の組合せがその時の正しい露出になります。

写真の例では、1/125秒でf4、1/60秒でf5.6などが適正露出になります。



● ダイヤル目盛

シャッタースピード目盛⑦の数字/2、/4、/8……はそれぞれ1/2、1/4、1/8……秒の意味です。1、2、4……は秒単位です。

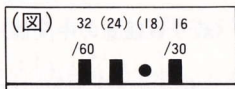
ASA目盛⑩の数字1.6M、3.2M……はそれぞれ1600、3200……の意味です。

●ムービー目盛⑥

測定方法はスチールカメラ(一般の撮影)の場合とまったく同じですが、ムービー撮影の場合は8, 16, 32……とコマ数単位になっています。ムービーカメラのコマ数に適する絞り目盛⑧を読み取り、カメラにセットします。

ムービーカメラのシャッター開角度が180°の場合

標準劇映画の撮影コマ数は24コマで黒線の表示です。シングル8, スーパー8の標準コマ数は18コマで黒点の表示です。



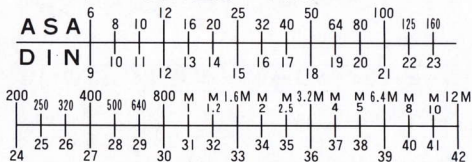
●EV目盛

エクスポージャーバリュースステムのシャッター付きカメラをお持ちの方はエクスポージャーバリュース目盛(EV目盛)で露出を決定してください。測定方法は例えばASA100のフィルムを使用して測定し、EV10ならばカメラのEVを10にセットします。この値でカメラの絞りを5.6にすれば、シャッタースピードは自動的に1/30秒になり、F11ならば1/8秒にセットされます。

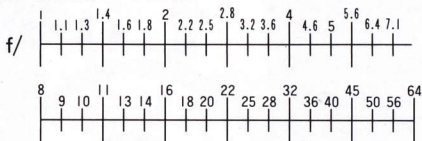
● 中間目盛

各ダイヤル目盛の中間値は次のようになっています。

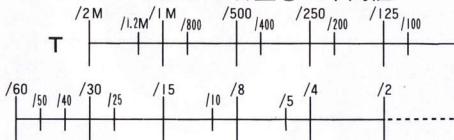
〈ASA(DIN ⑨)目盛⑩の中間値〉



〈絞り目盛⑧の中間値〉



〈シャッタースピード目盛⑤の中間値〉



アフターサービスについて

弊社の製品には一定期間内の無料修理をお引受けする保証書が添付されることになっておりますので、記載事項をお確かめのうえ販売店よりお受取りください。

なお保証書の再発行は致しませんので、取扱説明書と併せて大切に保管してください。

●無料保証期間などについて

- ①無料保証期間はお買上げ日より1ヵ年間でございます。
- ②保証書にお買上げ日および販売店名のないものは保証の対象になりませんので、必ずお確かめください。
- ③無料保証期間内でも有料修理となる場合もございますので、保証書の記載事項をお確かめください。
- ④保証期間経過後の修理は有料となります。また、運賃諸掛りはお客様にご負担願います。

●補修用性能部品の保有期間などについて

- ①補修用性能部品は5年間を目安に保有しております。したがって、本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお故障箇所によりましては期間が過ぎても修理可能の場合もありますのでサービスセンターにお問合せください。

- ②修理可能期間はお使用の状態や環境、お手入の状態などによって異なる場合がありますので、現品をご持参のうえお買上げ店またはサービスセンターにご相談ください。
- ③修理可能期間内でも浸冠水、強度のショック、その他損傷のいちじるしいもので、修理後の機能維持に問題が残ると思われまますものにつきましては修理不能となる場合があります。

●修理ご依頼時における留意事項

- ①修理品につきましては、故障内容を、またご指定の修理箇所があります場合には、その指定箇所をできるだけ具体的にお申し出ください。ご指定のない場合には、各部点検をはじめ品質的、性能的に必要と認められるすべてのところを検査・調整・修理することになり、修理料金が加算される場合がありますのでご注意ください。
- ②修理をご依頼されたものの中には、単に電池を交換するだけで正常に作動する「故障していないもの」が見受けられます。電池の容量低下、 \oplus \ominus の逆、定格違いなどについて、よくお確かめください。

●転居・贈答品の場合の手続きについて

- ①転居または遠隔地からの贈答品で販売店にご依頼しにくい場合は、最寄りのサービスセンターにご相談ください。